



育てよう
一人一人の
人権意識

—思いやりの心、
かけがえのない命を大切に—

昭和23年（1948）12月10日にパリで開催された国際連合第3回総会において『世界中の誰もが幸せに生活できる地球をつくりたい』という決意の下「世界人権宣言」が採択されました。国連ではこの日を「人権デー」と定め、加盟国に人権尊重思想の普及高揚を呼び掛けています。

日本でも12月4日から「人権デー」までの1週間を「人権週間」と定め、人権の大切さについて全国的に啓発活動を展開しています。

人権を尊重する社会づくりは、一人ひとりの個性の違いを尊重し、様々な立場、思想や信条を認め合うことが大切です。この機会に身近なことから人権について考えてみましょう。

人権パネル・ポスター展

とき 12月4日(火)～10日(月)
ところ 市立図書館
内容 第59回津山市児童生徒ポスター展、人権啓発特設コーナー

人権を考える市民のつどい

とき 12月16日(日)午後1時～3時
ところ グリーンヒルズ津山リージョンセンター
内容 アトラクション「考えようあなたの人権 わたしの人権」、講演「泣いて笑って頑張る」海老名香葉子（エッセイスト）
参加費 無料
※託児あり（予約要）。要約筆記・手話通訳あり

問い合わせ先 人権啓発課 31・0088

固定資産税の
前納報奨金廃止について

固定資産税前納報奨金は今年度限りで廃止されます。平成20年度の固定資産税を全期前納されても報奨金は付かなくなります。

口座振替で全期前納を申し込まれている人には、11月中に文書で納付方法の確認をさせていただく予定です。

問い合わせ先 納税課 32 - 2013

申告相談会場
変更のお知らせ

毎年2月中旬から、所得税の確定申告と市県民税の申告の受付を行っています。平成20年度からは、集中的に職員を配置して会場での待ち時間の短縮を図るため、申告会場を下表のとおり変更します。

地域	申告相談会場
津山地域	市役所2階大会議室 高野公民館
加茂地域	加茂支所
阿波地域	阿波支所
勝北地域	勝北保健福祉センター
久米地域	久米支所

問い合わせ先 課税課 32・2015

平成20年4月から
国民健康保険料の
特別徴収が開始されます

特別徴収の該当となる人

- ① 国保被保険者全員が平成20年4月1日時点で65歳以上75歳未満
- ② 世帯主が国保被保険者
- ③ 世帯主の年金受給額が年額18万円以上
- ④ 介護保険料と国民健康保険料の特別徴収予定額の合計額が年金受給額の2分の1を超えない



問い合わせ先 保険年金課 32・2071

市政アドバイザーからの
津山への提言



株式会社松屋顧問 隅田 憲平さん（神奈川県）

今回は、銀座に本店を置くデパートの松屋で顧問を務める傍ら、観光ボランティア組織「東京シティガイドクラブ」の代表を務める隅田憲平さんから観光について提言をいただきました。

観光は市民みんなの手で

観光は21世紀の最も大きな産業といわれ、多くの自治体において「まちおこし」の施策が展開され、趣向を凝らした施設が建設されています。しかし、それで事足りるといえないのが観光産業の難しいところであり、これらのハード面に加えて、街ぐるみ・市民ぐるみで観光客を迎える文化的土壌（ホスピタリティ）を育てることが重要です。

郷土津山にも、箕作・宇田川氏の記念館や武家屋敷など優れた文化遺産がありますが、これらのものと市民との関わりをどう構築するかが問題です。

大切なのは自らの街に対する市民の関心を高めることです。一度、街の文化・歴史に興味を持った市民は、自ら進んで街の案内人として大きな力を発揮してくれるでしょう。

昨今、いわゆる「ご当地検定」が盛んですが、私は「東京検定」の合格者とボランティアクラブを結成し、東京の街を案内しています。先日、東京に在住する津山高校の同期生（昭和31年卒）を案内しましたが、改めて知る江戸・東京の魅力に皆が驚いていました。

郷土愛は自分の街を知るところから育まれます。街の歴史・文化を知らなくて愛することはできませんし、市民のホスピタリティも育ちません。

行政は市民の行動を誘発するシステムを作り、市民の背中をちょっとだけ押してあげることが必要だと思います。

隅田憲平

●すみだ けんべい 昭和12年若田郡鏡野町（旧上斎原村）生まれ。津山高校卒業、中央大学卒業。東京都議会議員、東京メトロポリタンテレビジョン(株)専務などを歴任。現在、東京都情報公開審査委員会、(株)松屋顧問。

だより



加茂児童館「たんぽぽルーム」
「元氣ツズ」と一緒に遊んだよ

9月12日、加茂児童館で「たんぽぽルーム」が開催されました。この日は、鏡野町の子育て支援グループ「元氣ツズ」と一緒に親子で元気に遊びました。歌に合わせて手遊びをしたり、紙コップでウサギを作ったりしながら、楽しいひとときを過ごしました。

久米支所
秋の交通安全県民運動
事故ゼロを願い啓発活動

秋の交通安全県民運動初日の9月21日、津山市久米地区交通安全対策協議会など約80人が、ドライバーにチラシやグッズを手渡ししながら「安全運転をお願いします」と呼び掛け、交通安全の啓発活動を行いました。

また、24日には、津山西の町ジョギングクラブ主催で「第15回交通安全祈願タスキリレー」が行われました。時折雨が降る中、小学生から60歳代までの約50人が参加し、無事故を祈りながら久米路を元気に走りました。



支所